

【事例発表①】

**50歳を超えても
働き続けられる職場づくり**

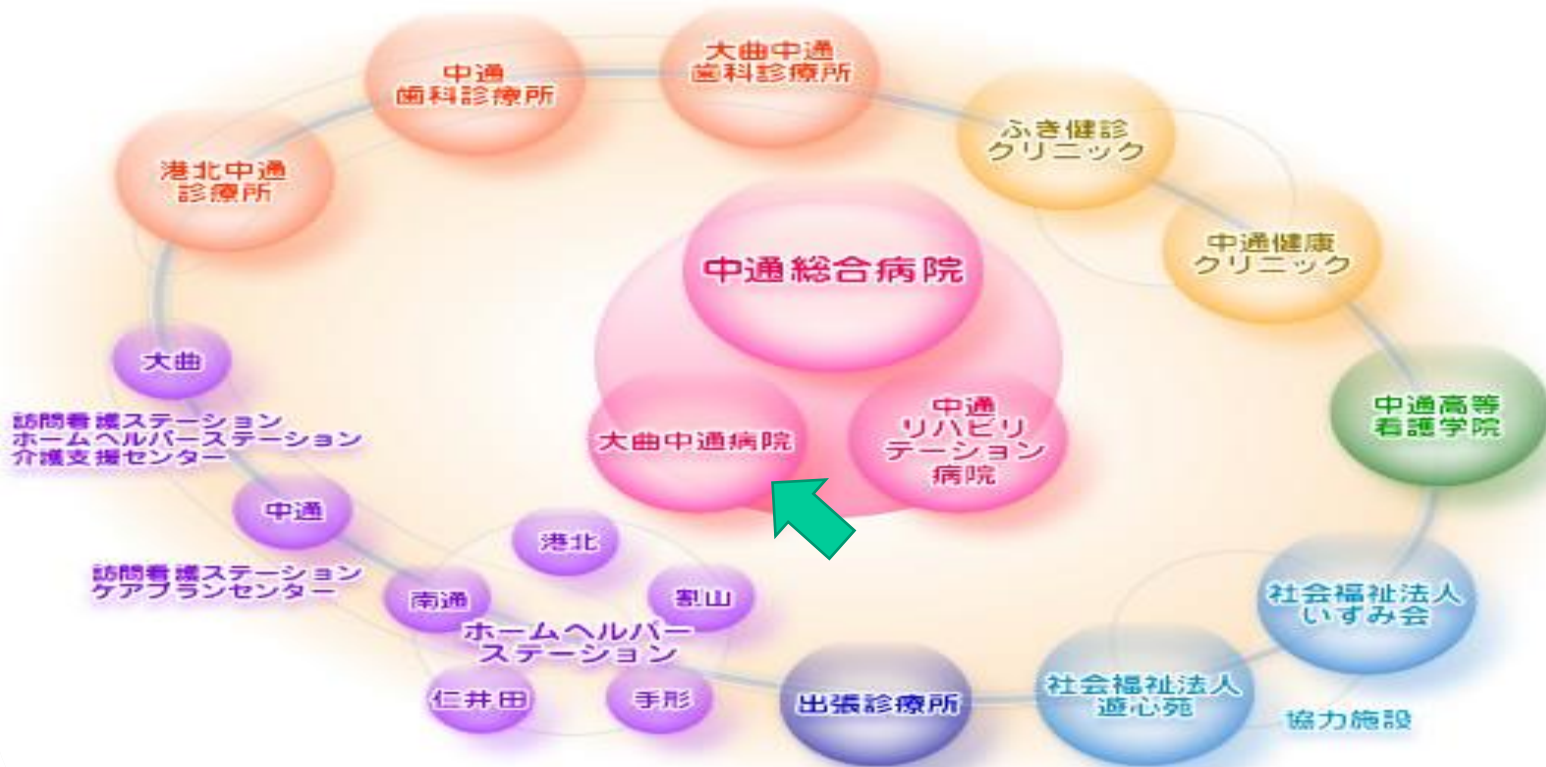
社会医療法人 明和会
大曲中通病院
看護総師長 畑山ひふみ

社会医療法人明和会



納得・安心・満足

私たちは、「いつでも、どこでも、だれでも」患者さんの立場に立つ親切で信頼される高いレベルの良い医療を行い、地域医療に貢献していきます。





大曲中通病院の概要



- 設立 昭和42年 下山資生堂病院として開設
- 病床数 106床 一般病床 60床 療養病床 46床
- 病床稼働率 96%
- 平均在院日数 21日
- 一般 13:1入院基本料 看護補助加算 (30対1)
- 療養 療養病棟入院基本料2
- 看護職員数 看護師 45名 准看護師 8名
- 看護補助者 16名
- 看護職員 平均年齢 46.75歳
- 看護体制 3交代勤務 看護体制 固定チームナーシング



看護部の理念



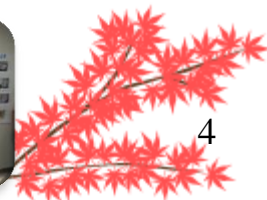
いつでも どこでも 誰にでも 想いやりのある看護を提供します。

• 基本方針

- 1.人権を尊重した看護を提供します。
- 2.一人ひとりと向き合い 心のこもった看護を提供します。
- 3.質の向上を目指し 安全で信頼される看護を実践します。

• 2015年看護の目標

患者さんに寄り添い心温まる、笑顔の看護・介護を提供します。
職員一人一人を大切にします。





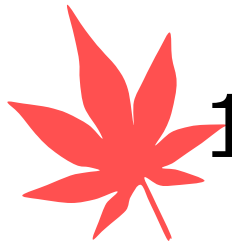
スケジュール表

看護師のスケジュール

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
●		▲			/	○	—		▲	○	/	○	—	○	○	○			/	○	—	○		○			/	○	—	
	●	○	/	○	—				○	○					/	○	—	○					○	/	○	—				
○	—	○	▲			●	/	○	—			/	○	—	○	▲		○	/	○	—							○	○	
/	○	—	○	●					/	○	—	○			▲	○					/	○	—	○			/	○	—	
	/	○	—			○	▲		/	○	—		/	○	—		○	/	○	—		○		○	○	○	○		/	
			○	/	○	—		●	/	○	—	○	○	○			/	○	—	○						/	○	—	○	
—			○			●	/	○	—			○	/	○	—				/	○	—	○		○	○		○			

○ 休み / 準夜 16:30~1:00 — 深夜 0:30~9:00
 ● 早番 7:30~16:00 平日 看護師 1名 土・日・祝 看護補助者 1名
 ▲ 遅番 10:30~19:00 平日 看護補助者 土・日・祝 看護師1名



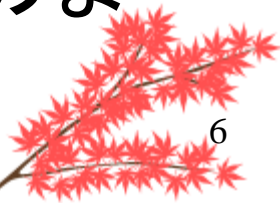


1. 医療勤務環境改善の取組みの背景

- 平成15年 看護部中堅研修を開催
テーマ「業務改善」

現状の課題

- ・夜勤がきつい(準夜・準夜・休み 休み・深夜・深夜)
- ・50歳を超えたら外来異動が暗黙の了解だが自分たちが50歳になるころには50歳代の看護師が病院を支えている。定年までこのままでは働く自信がない





1. 医療勤務環境改善の取組みの背景

- 課題(あるべき姿)
 - 50歳を超えても働き続けられる職場ができる
 - 定年退職まで働くための夜勤体制を考えることができる





2. 医療勤務環境改善の取組内容

- 看護師75名に対してのアンケート調査
現在の夜勤体制について

夜勤体制の見直しが必要か

はい 75人 (100%)

定年まで働きたいか

はい 75人 (100%)





2. 医療勤務環境改善の取組内容

- 夜勤のモデルを提示

(希望パターンを選択する)

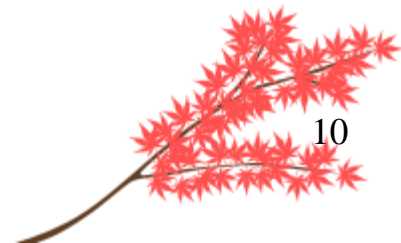
- 現在のパターン 10人
- (準夜 準夜 休み ・ 休み 深夜 深夜)
- 半日 深夜 準夜 休み 0人
- 準夜 深夜 休み 5人
- 準夜 休み 深夜 47人





2. 医療勤務環境改善の取組内容

- モデル夜勤を提示後実践を希望する職員を募る。
- その間に人事部に夜勤体制変更が可能なのか確認をする。
- 一般病棟のみ師長に確認して夜勤をスケジュール化してもらおう





2. 医療勤務環境改善の取組内容

- はじめ5人の看護師から希望

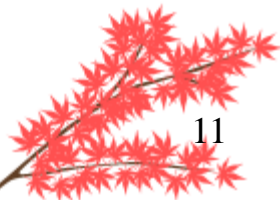
やってみたら体が楽だった

2日間の自宅を開ける時間帯が異なり、子供が安心できる
次の夜勤まで時間がり、自分も休むことが出来た

次の月には、ほぼ全員がやってみたいと希望

➤平成16年から一般病棟正循環夜勤へ移行

➤平成18年から療養病棟も完全移行





3. 医療勤務環境改善の成果

- スタッフからの感想

同夜勤を2日続けるプレッシャーが減った

以前の夜勤は考えられない

仕事に集中できる(体制が変わり心配だった)

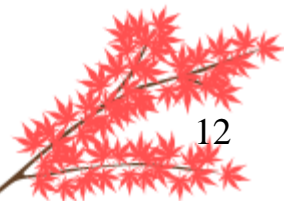
超勤の減少

インシデントの減少

疲れが残らない

子供の学校行事に参加できる

退職した職員からも正循環は本当にいい 疲れが違う





3. 医療勤務環境改善の成果

平成14年以降の退職率です。

理由は

- 定年退職 5名
- 結婚・子育て 6名
- 他施設での勤務 12名
 - 急性期病院 6名
 - 緩和ケア病院 1名
 - 診療所 2名
 - 公立病院 3名
- 進学 1名
- 病気療養 2名
- その他 5名

	職員数	退職者数	比率
平成14年度	60	0	0%
平成15年度	63	2	3%
平成16年度	55	4	7%
平成17年度	53	0	0%
平成18年度	47	2	4%
平成19年度	46	6	13%
平成20年度	44	1	2%
平成21年度	41	2	5%
平成22年度	42	4	10%
平成23年度	43	2	5%
平成24年度	44	1	2%
平成25年度	43	5	12%
平成26年度	42	2	5%



3. 医療勤務環境改善の成果

- 成功の要因は
ボトムアップによる検討
「自分たちがどうするのかを考える」
上層部の受け入れがあった
意見を出しやすい職場風土・病院風土
- やってみようという精神





表 夜勤・交代制勤務の勤務編成の基準

<項目>		<基準>
基準 1	勤務間隔	11 時間以上あける。
基準 2	勤務の拘束時間	13 時間以内とする。
基準 3	夜勤回数	3 交代勤務は月 8 回以内を基本とし、それ以外の交代制勤務労働時間などに応じた回数とする。
基準 4	夜勤の連続回数	2 連続(2 回)までとする。
基準 5	連続勤務日数	5 日以内とする。
基準 6	休憩時間	夜勤の途中で 1 時間以上、日勤時は労働時間の長さ と労働負荷に応じた時間数を確保する。
基準 7	夜勤時の仮眠	夜勤の途中で連続した仮眠時間を設定する。
基準 8	夜勤後の休息 (休日を含む)	2 回連続夜勤後にはおおむね 4 8 時間以上を確保する。 1 回の夜勤後についてもおおむね 2 4 時間以上を確保することが望ましい。
基準 9	週末の連続休日	少なくとも 1 カ月に 1 回は土曜・日曜ともに前後に夜勤のない休日を作る。
基準 10	交代の方向	正循環の交代勤務とする。
基準 11	早出の始業時刻	夜勤・交代制勤務者の早出の始業時刻は 7 時より前を避ける。





4. 医療勤務環境改善の今後の取組み

- 労働基準法上の「休日」の確保
 準夜　　休み　　深夜
- 2交代制の検討
- 育児休暇・介護休暇が安心取得できる
 人員の確保





- ご清聴ありがとうございました。

